

不適合情報

2018年5月18日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	非常用ディーゼル発電機(B)燃料油ドレンタンクの液位スイッチの電圧測定時、測定に用いた絶縁抵抗計の使用方法を誤ったために、直流125V(B)系回路の地絡を発生させたことを確認した。当該事象の原因を調査。	G III 以下

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	4号機	原子炉格納容器ドライウェル低電導度廃液系ドレン排水槽流量計の点検時、伝送器電源スイッチに動作不良を確認した。当該計器を修理。	
2	7号機	屋外消火栓1台の止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	